



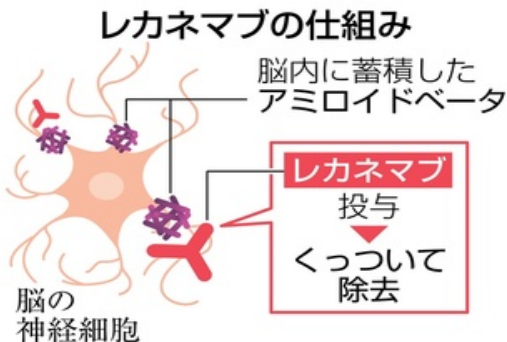
認定看護師通信



2024年1月発行
Vol.45

アルツハイマー型認知症の新薬「レカネマブ、レケビンR」について

アルツハイマー型認知症の新薬「レカネマブ」が2023年9月25日、日本でも承認されました。認知症の原因物質であるアミロイドβに作用し、早期アルツハイマー病の進行を抑えることが期待される初めての治療薬となります。



◆どのような作用があるのか？

アルツハイマー型認知症は、アミロイドβというたんぱく質が何らかの原因で脳の神経細胞の外側に蓄積することがきっかけで発症するといわれています。蓄積したアミロイドβが溜まっていくと、次は神経細胞の中にタウたんぱく質が蓄積します。すると、元気な神経細胞が減少し、認知機能低下が起きると考えられます。

レカネマブは「抗アミロイドβ抗体」と呼ばれる薬で、抗体の働きで脳内に存在するアミロイドβに結合して減らす(左記図)作用を持っています。特に蓄積したアミロイドβがかたまりになる前段階のアミロイドβを除去することがわかっています。

使用できる対象者: MCIもしくは軽度アルツハイマー型認知症で、アミロイドPET検査や脳脊髄液検査でアミロイドβの蓄積が認められた人。そのため、中等度以上に進行したアルツハイマー型認知症の人には、効果が確認されていません。また、MCIや軽度認知症であってもアミロイドβの蓄積が認められない人は対象外です。

投与方法は……

2週間に1回、点滴投与を行います。点滴にかかる時間は、1時間程度です。この注射サイクルを18カ月にわたり投与します。

費用は……

年間約298万円かかります。日本の場合は、保険適応や自己負担に上限をも置ける「高額療養費制度」が適用され、自己負担は年間14万円程度とされています。

* 県内でもまだ1施設でしか実施できるところがありません。

文責: 認知症看護認定看護師 宮崎真寿美

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) 研修を開催してます!!

* 日本では“人生会議”という愛称で普及・啓発されています

ACPとは

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。もしもそのような状況になった時、どのような医療やケアを望んでいるか信頼できる人たちと話し合うことです。

▶ 毎年、年間を通してACP研修を開催するワケ…

当院は厚生労働省から、平成20年2月に地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。指定要件として院内スタッフがACPを理解していることを求められているからです。今年度、看護部では各部署の勉強会のひとつとして開催し、ACPの講義と“もしバナゲーム”を実施しています。全職員に参加し、経験して頂けるように以下の日程で計画しました。ぜひ、ご参加ください!!

人それぞれ価値観が違うことがわかった

家族ともやってみたい

多くの人に
もしバナゲーム
を経験してほしい

前回した時と今回
自分の価値観が
変わっていることに
気づいた!



余命半年だったら…?
もしものことを
気軽に話し合えるカードゲーム

患者さんに寄り添い
看護実践に活かしたい

* 参加者の感想です

院内ACP研修会
1月25日 (木)
2月22日 (木)
3月18日 (月)
講堂1 (売店側)
17:30~1時間程度

* 市民向け出前講座
受け付けています

文責: 緩和ケアCN 宮野由美